栃木県地域女性活躍推進補助金実績報告書

市町村名: 小山市

		_					
1. 3	事業名	小山地区定住自立圏地域連携トップセミナー・異業種交流会					
2. 🔄	実施期間	平成29年4月1日 ~ 平成29年12月28日					
3. 🗄	事業の趣旨・目的	働く場における男女共同参画を推進する意識の醸成は早急に浸透するのは困難である。そこで、事業所の経営者や人事・管理部門の職にある担当者、就労する男女の意識を高める事業を根気よく実施するのが必要である。このため、経済産業団体等の協力を得ながら、女性活躍推進や男性の働き方の見直しなどについての理解をより深めることを目的とした講演会や女性リーダーの異業種交流会を開催し、意識の醸成を更に促進させる働きかけを行う。平成28年度に策定した「小山地区定住自立圏共生ビジョン」をもとに、近隣市町(下野市、野木町)、隣接県外市(茨城県結城市)と共に事業を実施し、3市1町の連携を図りながら女性活躍推進の取組を促進できるよう継続的に事業を実施するものである。					
4. 🗄	事業内容	事業所の経営者や人事・管理部門の職にある担当者、そこで働く従業員を対象とした、女性活躍の推進に対する理解と男性の働き方の見直しなどについて、意識の醸成を図ることを目的とした講演会とグループワークを開催し、別日程で3市1町の行政職員と民間企業等の現職の女性管理職員と次世代を担う女性職員の交流会を開催する。近隣の地域同士で連携する本事業を通して、情報交換やそれぞれの苦慮する点を課題として話し合い、女性が活躍できる職場環境の整備へ導く場を提供する。					
	事業効果及び 効果検証の概要	参加者が、自らの意識変革の必要性を感じ、自身の職場環境において自発的に行動することが期待される。また、女性活躍や働き方の見直しなどについて理解を深めた企業や事業所の参加者が、職場環境の改善や活力ある職場作りに向けた取組を推進することが期待される。参加者アンケートにより、「ワーク・ライフ・バランス」「女性活躍」への取組について、9割近くが取組の必要性を感じることが伺える。					
	目標達成度及び 達成状況に対する評価	全体の事業目標とする「満足度」について、参加者のアンケートにより、「大変満足」「概ね満足」を占める割合は9割強となり、100%とする目標値に達することはできなかったが、概ね達成することができた。連携する団体からも、概ね達成できたとする評価を得られた。ただし、アンケートの回収率が6割であることを踏まえ、次年度のアンケート回収について工夫する必要がある旨の意見も出た。					
7. <	今後の課題	最も意識を浸透をさせひろめていきたい企業や事業所の参加が少なかったため、次年度開催の際は、強力に参加を促進する必要がある。また、連携団体より、知名度のある講師や女性を対象とする起業支援など、参加者の興味を掻き立てる内容を盛り込んだ事業提案が意見として出されたことを踏まえ、次年度の実施内容を検討する。					
8. 🗄	事業の実施体制	共催である小山商工会議所、間々田商工会、小山市美田商工会、桑絹商工会、小山市工業団地連絡協議会、小山市工業会、小山市金融団には、講演会や異業種交流会の周知及び参加への協力、事業に対する意見を聴取。同じく共催である小山市男女共同参画推進協議会、小山市女性団体連絡協議会には、講演会の実施運営と各団体の参加者の募集を依頼。さらに「小山地区定住自立圏形成協定」を締結した近隣2市1町への地域交流を踏まえた参加者募集を要請し、事業の企画・運営を実施。この他、小山市ワーク・ライフ・バランス推進認定事業者には参加への協力を依頼。					
9. 治	経費の内訳					(単位	灯:円)
事業 番号	個別事業名	総事業費 (A=B+C+D)	本交付金 (B)	他の寄付金等 (C)	自己資金 (D)	備	考
1	講演会(トップセミナー)	524,873	419,000	0	105,873		
2	異業種交流会	269,263	134,000	0	135,263		
	合 計	794,136	553,000	0	241,136		
10.	担当者名及び連絡先	小山市総務部男女共同参画課 恩田理恵 26(0285)22-8078					
	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	様式4-2-1に					
注1)[9 経費の内訳」の[事]	送 34- 中. 」 17. ィド /田 日	コースターナ 持っ	ピォーの のし事を入	ルルナ、1、- インコキ4)	ナノエンナン、	

- 注1)「9. 経費の内訳」の「事業番号」及び「個別事業名」は、様式4-2-2と整合性をとって記載してください。 注2)「9. 経費の内訳」の「公募要領の取組例」は、公募要領第2【取組例】(1)、(2)、(3)、(4)から選択してください。
- 注3)「9. 経費の内訳」の「子算措置年度」は、実施主体における予算措置状況について「28年度補正予算」、「29年度当初予算」、「29年度補正予算」のいずれかを記載してください。
- 注4) 個別事業のうち、28補正(補助率8/10)で交付決定を受けている事業は、「9. 経費の内訳」の「28補正事業 (補助率8/10)」の欄に○を記載してください。
- 注5)「9. 経費の内訳」において「他の寄付金等」がある場合は、備考欄に内容が分かるよう記載してください。
- 注6)本様式はA4で3枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。